

会議の結果報告

名称	令和7年度 菊間地区学校適正配置地元代表協議会【第2回】	
開催日時	令和7年12月12日（火） 19時00分～20時00分	
開催場所	今治市菊間公民館 2階 中ホール	
出席者	<b>【委員】</b> 会長 外16名（教育長、副教育長を含む） ※2名欠席（菊間自治会、小西保育所保護者・代表）	
	<b>【その他】</b> 菊間支所長	
	<b>【事務局】</b> 今治市教育委員会教育政策局長 外8名	
傍聴者	なし	
議題	1	前回求められた資料について
	2	学校小規模化による教育上の課題について
	3	学校統合による学校・地域への影響について
	4	意見交換
議事内容	1	<b>前回求められた資料について</b> 各小学校（亀岡小・菊間小）を中心とした1キロメートルごとの同心円により、通学に係る距離が分かる資料を提示した。
	2	<b>学校小規模化による教育上の課題について</b> 過小規模校（複式学級がある学校）のメリット・デメリットを中心に説明した。また、現在の教職員の配置基準を説明した。 亀岡小での複式学級での状況や、全校生徒数が少ないことでの体験学習上のメリットを共有した。 また、人間関係やクラブ活動への懸念について意見があった。 多様性と複式学級解消との優先度においては、複式学級の解消の方が優先度が高いとの意見があった。
	3	<b>学校統合による学校・地域への影響について</b> 学校統合により廃校となる地域コミュニティが消滅しないよう、交流の場を確保や地域のつながりを維持できる仕組みを考えるよう要望があった。 保育園統合の動きを共有し、保育所保護者として、地域での活動を大切にしていきたいとの意見があった。
	4	<b>意見交換</b> 将来的に少子化が続き、統合しても少人数の学校であることから、今後5～6年後の学級編制についての市の考え方を問われた。 市としては、菊間町内での学校運営を第一に考え、地域で学校が存続できるよう学校統合だけでなく町の運営についても検討していくことを答えた。 今治市として子どもを増やす施策があるのか、市の見解を問われた。 市としては、他市での地域と連携した特色ある学校づくりの事例を参考

	<p>に、人を呼び込む学校運営策を検討していくことを回答した。</p> <p>通学検討等のため、地区を細分化した子どもの数を示した資料を求められた（次回提示）。</p> <p>既に提示されたものを含め、資料の男女比を示してほしいとの意見があった（次回提示）。また、小学校統合だけでなく、中学校統合も並行して検討し、長期的な子供の数減少や保護者の不安に対応してほしいとの意見があった。</p> <p>次回の会議では、統合の是非、統合するとしたら場所はどこか、など踏み込んだ内容について話し合う旨を共有した。</p>
備考	<p>次回の開催は、令和8年2月13日（金）午後7時から菊間公民館2階大ホールを予定。</p>